

那賀川源流で樹木銘板を取り付けました

平成25年10月1日、那賀川流域で活動する民間団体「那賀川アフターフォーラム」が、那賀川源流をPRするために、源流碑周辺を「原生林の植物園」に整備する活動を行いました。

ゆきかう那賀川推進会議（事務局：那賀川河川事務所）は、同グループの活動に賛同し、「原生林の植物園」整備に協力しています。



樹木銘板の取付は、今回で5回目となり、過去に設置していた銘板の補修や新たな銘板の設置を実施しました。

また、当日はシカの食害防止活動として木々の幹に保護用ラス巻きや、植樹活動を行っている木頭中学校の生徒約20名にも銘板設置にご協力頂きました。



植物学の森本康滋先生や木下覺先生には、近年のジロウギユウ周辺の植物の分布状況の変化や、シカの食害により森の維持が難しくなっていること等をお話しいただき、今回の活動の重要性を確認してもらいました。



那賀川河川事務所では今後とも地域と連携した活動に協力して、森の役割・河川の役割の重要性を知ってもらう活動を続けていきたいと思っています。